

## 第 4 回北区観光振興プラン策定検討会 議事概要（案）

|     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 日 時 | 平成 26 年 11 月 6 日（木）18:30～20:30    |
| 場 所 | 北とびあ 7 階 第 1 研修室                  |
| 出席者 | 検討会委員：14 名（1 名欠席）、（事務局）7 名、傍聴：3 名 |



委員長あいさつ



会議の様子



会議の様子

### 議事次第

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 観光振興プランの策定スケジュールと体制の確認（資料 1）
4. 前回検討会のふりかえり（資料 2）
5. 北区観光振興プランワークショップの報告（資料 3）
6. 議題
  - (1) 北区観光振興プランの将来目標像、全体内容について（資料 4）
  - (2) 東京 23 区の観光協会等の実態について（資料 5）
7. その他

### 配布資料

- 議事次第、配席図、観光振興プラン策定検討会委員名簿
- 資 料 1：観光振興プランの策定スケジュールと体制の確認
- 資 料 2：第 3 回北区観光振興プラン策定検討会議事要旨（案）
- 資 料 3：北区観光振興プランワークショップニューズレター（vol. 4）
- 資 料 4：北区観光振興プラン（案）
- 資 料 5：東京 23 区の観光協会等の実態調査結果

### 主な議論内容

- ・ 観光振興プラン案について概ね了承を得、パブリックコメントまでの対応については、委員長と副委員長に一任することとなった。
- ・ 第 3 章の目標像については、第 2 章の各ステップにそれぞれ目指すものが示されている。キャッチフレーズ的な目標像を示すことはせず、将来目標に向けた 3 つの基本的方向性を示すことになった。
- ・ 第 5 章のリーディングプロジェクトについては、1 文の中に「先導する」と「リーディング」の言葉が重複している部分は、「リーディング」という言葉を削除することになった。
- ・ リーディングプロジェクト選定の考え方について、視点 2 の「必要性」を「明示性・共感性」に変更することになった。
- ・ プロジェクトの順番については順不同ではあるが、プロジェクト 3 の「暮らしっくツアープロジェクト」を 1 番に移動させて、順送りの並びにすることとなった。

## 1. 開会

## 2. 委員長挨拶

- ・ 前回の委員会では、観光振興プランが絵花的にならないようにリーディングプロジェクトを設定した旨を説明させていただいた。その後、10月27日にワークショップを開催し、実際に活動されている皆様のアイデアをいただき、リーディングプロジェクトの肉付け作業を行った。本日は2つの議題があり、ひとつは、プランの素案の確認である。最終の検討会まではまだ時間があるが、本日がパブリックコメントにかける前の最後の議論になるので、忌憚のないご意見をいただきたい。後半は、他自治体の観光協会等の実態について、事務局の方で作業を進めていただいていたので、その報告をさせていただく。それについては、今後、北区の観光推進組織の性格をどのようなものにしていくのかということについて、ご意見をいただきたい。限られた時間の中で、2つの議題について有効なご意見がいただけるよう、ご協力をお願いしたい。

## 3. 観光振興プランの策定スケジュールと体制の確認

- ・ 事務局より、資料1「観光振興プランの策定スケジュールと体制の確認」の説明。
- ・ パブリックコメントの期間はいつからいつまでか。
  - ▶ 具体的には12月22日から翌年1月28日までパブリックコメントを行う予定である。区民の方には12月20日の北区ニュースで周知させていただく。また、プラン案は、本庁舎のほか、区内の図書館、地域振興室等の区民施設に置かせていただき、また、北区公式ホームページでも公開する予定である。
- ・ みなさんも何かあればご意見をいただければと思う。

## 4. 前回のふりかえり

- ・ 事務局より、資料2「第3回北区観光振興プラン策定検討会議事要旨（案）」の説明。
- ・ 4ページのつながりについての発言部分は、文士村関係で田端と馬込をつなぐという主旨の発言であった。また、ものでつなぐというよりは、テーマでつなぐという意味合いであった。
  - ▶ 了解した。(事務局)

## 5. 北区観光振興プランワークショップの報告

- ・ 事務局より、資料3「北区観光振興プランワークショップニューズレター（vol.4）」の説明。
- ・ 傍聴で参加した感想として、みなさんが最終的に考えていることは、北区を活発化しようということだったと思う。また、観光を進めるうえで中心となる組織が必要ということについては、どのグループも活発な意見が出た。鉄道に詳しい方や商店主の方などいろいろ知識がある方がいらっしゃり、かなり有意義な会だった。

## 6. 議題

## (1) 北区観光振興プランの将来目標像、全体内容について

- ・ 事務局より、資料4「北区観光振興プラン（案）」について説明。

### ① 将来目標像について

- ・ 将来目標像について、私は前回までの案の北区時間という言葉が好きだったが、今回その言葉が消えたのは、北区時間が帰る方の帰宅時間とかぶってしまうという理由か。
- 語感で、北区時間という帰る時間と勘違いされる方が多いので、今回変更したものを提案させていただいた。
- ・ 了解した。今の事務局案としては、「時と暮らしを旅するまち北区」ということになっている。
- ・ 北区時間という本を作成したときは、暮らしを旅するという意味も込めて、北区時間というタイトルにした。音で聞いたときに帰る時間に聞こえるという議論はあるが、聞いたときに、帰る方の帰宅のわけではない、と考え直すことで思いが広がると思う。音で聞こえるからと言って変える話ではないのではないかと。また、将来像は音で聞くものではなく、文字で見るものであると思う。また、北区時間という言葉には、暮らしや過ごすという意味も入っているが、これは冊子をつくったときの思いであるので、今回の計画に必ずしも反映させたいわけではない。
- ・ 時間を横文字にして、北タイムではどうか。北シティタイム、だと音での勘違いはなくなるのではないかと。
- なるべく横文字は減らしたほうが良い。リーディングプロジェクトについても先導事業、引っ張り事業などとした方が良いのではないかと。横文字で分かり難くするよりも、日本語で分かりやすい方が良い。
- 日本語がある横文字は、日本語を使うべきである。
- ・ タイムという簡単な単語であれば、小さい子からお年寄りまで理解できると思う。専門用語の横文字は分かりにくい、タイムであれば問題ないのではないかと。
- ・ 折衷案として、「時と暮らしを旅する～北区時間～」ではどうか。
- それも良いと思うが、将来像は行為ではなく、姿、つまり、名詞でなければならない。
- ・ 将来目標像を今後どのように使っていくかということだと思ふ。本当に将来像を示すものであれば、例え長くでもしっかり説明すべきだと思ふ。逆に、キャッチコピー的な意味合いが強いとしたり、たとえ誤解の恐れがあってもインパクトの強いものにすべきだと思ふ。今回は無理にキャッチ的にしなくても良いと思ふ。
- ・ 今回の目標像の最終形は、第2章の観光振興の進め方のステップ3「定住人口増加をめざした総合的な地域活力の向上」の部分だと思ふが、無意識的にキャッチとして使いたいという思いがあるから、現状のようなかたちになっているのだと思ふ。
- 将来目標像を説明する前段の文章のなかには、そのステップ3の内容を入れてもらった方が分かりやすいと思ふ。そうするとキャッチにしても意味が伝わると思ふ。
- ・ そもそも将来目標像は必要か。
- 北区観光の目指すべき方向性を共通認識として持つためには、必要だと考えている。他区でもすべて設定しており、キャッチフレーズのようなもの、長いもの、標語的なものと様々

あるが、北区においても何らかの将来目標像は欲しいところである。

- ・ 現状は、第2章の観光振興の進め方のステップと第3章の将来目標像がかみあっていない状態である。将来目標像はステップのどこかの部分を示すものなのか、すべてのステップを下支えするものなのか。現状では、第2章の進め方の各ステップにそれぞれ目指すところが示されているので、将来目標像は必要ないのではないか。
- ・ 観光協会を設立した場合、いろいろな方面から期待されると思うが、そのいろいろな期待に応え続けていくのが観光協会の目標だと思う。将来目標があると、目標を変えられず、その目標に向かってずっと進めなければならないが、進む方向は限定されない方が良いと思う。
- ・ 北区という言葉は入れなければいけないのか。北区は東京以外の市にも存在するので、東京の北区であることが入れられればよいと思う。
- ▶ 北区という表示そのものは、戦後、行政が決めたもので、滝野川、王子、赤羽の地名とは関係ない。あまり北区にとらわれすぎない方がよいのではないか。
- ・ 全国の誰が見ても分かりやすいほうがよい。「住んでよし、訪れてよし、東京都北区」でどうか。
- ・ この資料は北区民が見るものであるもので、そこまで意識する必要はない。また、委員長の提案通り、ここで無理にキャッチ的なものを考える必要はないと思う。むしろ、文章できちんと説明する方が重要である。キャッチは、北区観光協会の最初の事業として、北区民から公募するのが良いのではないか。今、この段階でわれわれが議論するには無理がある。委員のみなさんの意見はそれぞれ正論であるが、将来目標像はタイミングによって、その時その時で変わるものだと思う。
- ・ 将来目標があるとしたら、観光振興の進め方のステップに応じた3つである。今の段階では、それぞれのステップに目標の姿があると思う。
- ▶ 北区としては違いを際立たせたいということでキャッチコピーを考えてみたが、ここで議論するのも適切でないと感じた。また、今回のプランは、行政のみの計画ではなく、区民や事業者の方と一緒に取組む計画として策定している。キャッチフレーズなどは、今後、観光推進の組織体制ができたときにまた変化してくるものであるもので、今の段階では、みなさまから意見をいただいている通り、観光振興の段階を踏まえた将来像をうたっておくのが現実的で分かりやすいと考える。
- ・ 3つのステップを踏まえても良いと思ったが、実際にこれから展開していくことを考えると将来目標像の次ページの3つの基本的方向性の方がキャッチ的に示している。「掛け算の観光・組み合わせる観光」、「さまざまな連携による観光」、「行動に着目する観光」、それぞれを列記するだけでも北区らしい観光になり、これだと時間が経っても変わらないと思うので、これを将来像にもってくる方法もある。観光振興の段階の3つのステップを目標像として置くか、3つの基本的方向性を目標像として置くか、どちらかを選択するというかたちでいかがか。
- ・ 観光振興の進め方のステップは、北区の観光の目標というよりは、観光振興を推進していくためのステップであるので、将来像として、北区の観光に対する考え方を明確に示すすれば、3つの基本的方向性の方を打ち出していく方が分かりやすいのではないか。

- ▶ その方が分かりやすい。
- ▶ その方がイメージしやすい。
  - ・ では、将来目標像は、3つの基本的方向性に置き換えるということによいか。
- ▶ (一同了承)
- ・ 今後は、副委員長と調整するかたちで進めていきたい。

## ② リーディングプロジェクト全体について

- ・ 第5章の先導する5つのリーディングプロジェクトという部分は、リーディングをとってしまってもよいのではないか。
- ▶ ご指摘通り、先導する5つのプロジェクトで良いと思う。関連する箇所はすべて変えていただきたい。
- ・ 表題の部分は、リーディングという言葉をとって先導するプロジェクトで良いと思うが、本文中は、5つのリーディングプロジェクトを定め、というふうに残したほうが言い換えになって意味が伝わりやすくなると思う。1つの文章中に先導とリーディングが混在するのはおかしいが、段落が変われば逆に分かりやすくなる。
- ・ 第5章のはじめにリーディングプロジェクトを選んだ視点を示しているが、視点2の「必要性」は、誤解を招くと思う。必要性があることしかプランの中には盛り込んでいない。むしろ、「分かりやすさ、共感しやすさ」というのはあると思う。
- ▶ 必要性は誤解も招くということで、「明示性・共感性」ということに変更させていただければと思う。
- ・ プロジェクトの内容について、観光協会が出来上がったばかりの頃は、自主財源による運営が難しく、区からの委託業でパンフレットの作成やイベント運営などを行っているケースが多い。だから、あまり区の方でイメージを固めすぎないように、この程度の内容でちょうどよいと思うが、すべての内容に「等」という言葉を加えておいたらどうか。また、最終的な成果品には、それぞれのイメージを膨らませる写真などがあっても良いと思う。

## ③ リーディングプロジェクトの順番について

- ・ リーディングプロジェクトの順番はこれでよいのか。優先度的には組織設立が1番目かと思う。
- ▶ プロジェクトの順番は優先順位でない。強いて言うならば、「鐵分増強プロジェクト」に近いことが北区ですでに取り組み始められているので、プロジェクト1にしているのだと思う。
- ・ 鉄道は区外の人たちにもアピールしやすく、インパクトもあるので、始めにもってきても良いのではないか。
- ・ プロジェクトは序列ではないので、順不同と書いておけばいいのではないか。
- ・ プロジェクトの順番を変えたとしたら、観光ボランティアが説明したいことを先にするのが良いのではないか。
- ▶ ここに書いてあることは、私たちにとっては新鮮でぜひやってほしいと思っている。今進んでいることをわざわざプランに書いてもあまり意味がない。

- ・ プロジェクト3「暮らしっくツアープロジェクト」を一番上にしてはどうか。
- 私もプロジェクト3を1番に持ってきて良いと思う。
- ・ プロジェクトの順番については、プロジェクト3を1番にもってくるということで良いか。そして、現在のプロジェクト1をプロジェクト2に、プロジェクト2をプロジェクト3と順送りにするかたちでよいか。
- (一同了承)
- ・ プロジェクトのキックオフのタイミングはどうなるのか。一斉に行うのか。
- どのタイミングで実施するかまで示すと足かせになる可能性があるので、平行で、できることから、できる人から、できるタイミングで行うので良いと思う。

#### ④ (リーディングプロジェクト3)「暮らしっくツアープロジェクト」について

- ・ プロジェクト3の本文について、「江戸時代からの歴史」という部分は、「江戸時代から昭和に至る歴史」という表現に変えていただければと思う。
- ・ プロジェクト3の副題の「暮らしの探偵団」とは何か。
- これは抽象的な文言となっているが、様々なプログラムやコースづくりに取組んでいくことの総称として示させてもらっている。
- ・ 内容は分かるが、ここにいきなり出てくるのは唐突であると思うので、文章を考えたり、注釈をつけたりする方が良いと思う。
- 新しくテーマを編集する人たちが暮らし探偵団とよぶということだが、注釈などがなければ分かり難いということなので対応いただければ思う。
- ・ マニアックな暮らしに井戸が出てきているが、どうして銭湯が出てこないのか。外国人にもうけがよいので、銭湯を入れていただければと思う。

#### ⑤ 基本戦略と施策の体系について

- ・ 基本戦略Ⅳの実施事例にある「まちなかバル」とは何か。
- こちらは26ページの実施事例の部分に注釈をつけている。
- これも写真などイメージがあっても分かりやすいと思う。
- ・ 基本戦略Ⅳの戦略「産業と観光をつなぐ」の部分について、飲食の記述が目立つが、商業の魅力はグルメだけなのか。
- まちあるき商店街ツアーの実施などを加えておいてはどうか。
- 特徴的な事例をあくまで実施の事例として書いているので、ご理解いただければと思う。商店街のマップを作成する計画もあるようなので、それも追加させていただく。
- ・ 施策の「北区観光推進のプラットフォームの設置」の実施事例に、成果指標として定めている「観光意識調査の実施」の項目も追加していただきたい。

#### ⑥ 成果指標と目標値について

- ・ 成果指標と目標値について、特に「JR 主要駅の1日平均乗車人員」の目標値はどういう考え方で設定しているのか。
- これは3パーセント増加した数値を設定しているが、過去のデータをみて、達成できそうな数値を設定している。細かなデータはプランに載せる話ではないので、バックデータと

して持っている。

- ・ 今は切りの悪い数字であるので、切りの良い数字にしてはどうか。その方が説明もしやすいと思う。

## ⑦ まとめ

- ・ 本日は議論する時間が足りなくなりそうだが、今週の来週でもう一度会議を行うことは基本的には無理そうである。
- ・ 委員長に一任で良いのではないか。
- (一同了承)
- ・ では、気になったことがあれば、パブリックコメントでご意見をいただければと思う。

## (2) 東京 23 区の観光協会等の実態について

- ・ 本日もうひとつ予定していた、23 区の観光協会等の実態についてはどうするか。
- 事務局としては、本日配布した資料の説明を考えていたので、本日のものは各自ご覧いただき、次回 2 月に予定している検討会で、パブリックコメントの結果と合わせて改めてご報告させていただければと思う。
- ・ では、次回の会議のときにご報告いただき、今後に向けての展開を議論いただくということで良いか。
- (一同了承)

## (3) 総括

- ・ 本日の議論の総括として、第 3 章の目標像については、目標像を示さず、後ろのページに記載してある 3 つの基本的方向性に置き換えて示すということにさせていただいた。第 5 章のリーディングプロジェクトについては、1 文の中に「先導する」と「リーディング」の言葉が重複している部分は、「リーディング」という言葉を削除することになった。また、リーディングプロジェクト選定の考え方について、視点 2 の「必要性」を「明示性・共感性」に変更することになった。さらに、プロジェクトの順番については順不同ではあるが、プロジェクト 3 の「暮らしっくツアープロジェクト」を 1 番に移動させて、順送りの並びにすることとなった。また、プロジェクト 3 の副題の「暮らしの探偵団」については、イメージしにくいという意見もあったので注釈等などを入れることを検討していただくことになった。中身については、プロジェクト 3 の本文で「江戸からの歴史」という部分を「江戸から昭和に至る歴史」とすることになった。さらに、それぞれのプロジェクトの取り組みイメージには、「等」という言葉を追加し、できれば、イメージ写真などを入れていただきたい。
- ・ 今後は、スケジュールに基づき、他の行政計画との整合も図りつつ、パブリックコメントにかけることになる。先ほど、委員長、副委員長に一任いただいたので、今後は私と副委員長のほうで責任をもってパブリックコメントに図りたい。パブリックコメントの期日は先ほど申し上げた期日で行うので、またご意見があれば、その中でいただければと思う。

また、23 区の観光協会等の実態については、2 月に開催される検討会の中でさらに情報を加えたかたちでご報告し、今後に向けた議論を行いたい。本日は、時間が足りず申し訳なかったが、本当に熱いご議論をいただき、感謝する。

## 7. その他

- ・ 事務局より、次回第 5 回検討会の案内、閉会。

以上